

主体的に行動することの大切さ

中部中・3 太田 千優

みなさんは主体的に行動できていますか。主体的とは、自らの意思や判断を尊重して自主的に行動することです。主体は中心が自分自身なので、最後に決めるのは自分で、その前には自信や意思が必要になります。しかし、主体的に行動することは簡単ではありません。私も小学生までは恥ずかしさもあり、なかなか主体的に行動することができませんでした。しかし、いろいろな経験を通して、主体的に行動することの大切さを知り、人として少しずつ成長することができました。その経験について述べたいと思います。

私は中学一年生から友達と一緒に習い事のサッカーに電車に通っています。電車はいろいろな人が乗ります。サラリーマンや高校生、高齢者、車いすを使用している人や目が見えない人。さまざまな人と乗り合わせる事によって経験したことです。

その一つは、最近の出来事です。サッカーの帰りに私と友達が隣同士で席に座れず立っていたら、大学生ぐらいの女性が席を譲ってくれました。私は、

「大丈夫ですよ。大丈夫です。」

と言いました。でもその女性は、

「いいですよ。」

と、笑顔で私たちに向かって言ってくれました。とても優しい笑顔でした。しかもその女性は、私たちより長い時間電車に乗るにもかかわらず、席を譲ってくれたのです。

よい思い出ばかりではありません。ある日、私たちはサッカーが終わって、いつも通りに電車に乗って帰っていました。すると、私たちが座っていた隣で酔っ払った若い男性が二人いて、つり革にぶ

ら下がりがながら大きな声で話していました。周りの人に迷惑をかけていることにも気づかず、そのまま時間が過ぎていきます。周りの人も彼らには何も言いませんでした。私はその時、怖かったです。酔っ払った人は何をするか分かりません。私はただおびえました。下を向いたまま、聞こえないふりをしてその場を立ち去りました。

でも、なぜこのような状況になる前に周りの大人は注意しなかったのか疑問が残りました。そこにはそれぞれの思いがあるのではないかと想像しました。一つは、面倒なことに巻き込まれるのは嫌だから別にいいやと思う人。もう一つは注意したいけれど何て言えばよいか分からない人。結果的にはどちらも行動していないことに変わりありません。自分さえよければいいと思う人は、他人任せにしたり、すぐに人のせいにして主体性がありません。また、思っではいたけれど行動に移せなかった人は必ず後悔します。私も電車でお年寄りの方に勇気がなくて席を譲れなかったことがあります。「どうぞ」の一言が言えなかった自分が情けなかったです。でも過ぎてしまったことを考えていても前には進めません。

「自信がなくても行動に移す」

この教訓を生かされたのが父親と一緒に電車に乗っていたときのことです。私たちは座っていました。すると私たちの前に座っている女性の顔色が悪いのに気づきました。手提げかばんに妊娠中の人がつけるマタニティマークがついていました。私は勇気を出して立ち上がり、その女性に言いました。

「どうぞ。」

するとその女性は少し間をおいて、

「ありがとう。」

と言いながら頭を下げてくださいました。隣にはほほえんでいる父親がいました。それを見て私も笑顔になりました。席を譲ることは当たり前のことかもしれませんが勇気があることです。席を譲りたいと思う気持ちがあっても行動に移すことができなければ意味がありません。

せん。私に通っているサッカークラブでコーチから、

「主体的に動くことが大切。プレーしていないときにどれだけ周りを見てチームのために率先して行動することができか。それができたら人としても成長することができる。」

と言われたことを思い出しました。例えば、サッカー場の施設を使用させてもらったときには、来たときよりも美しくするため、ゴミ一つ残さないように掃除をするようにしています。

私自身、主体的に行動して成長できたことがいくつもあります。

一つ目は、小学校五年生のときの家庭科でランチョンマットを作ったときのことです。最初に数種類から布を選ぶときに私は自分の好きな模様を取ることができました。でも一人の男の子はジャンケンに負けてしまい、希望の物を手に入れることができませんでした。

その男の子はとても悲しい表情をしていました。それを見て私は自分が選んだ布を男の子に渡しました。男の子は、はにかみながら、「ありがとう。」

と、小さな声で言いました。すると、それを見ていた先生が、

「裏の模様は千優が最初に選んでいいよ。」

と言ってくれました。この経験から私は、常に周りを見て、進んで行動することの大切さを学ぶことができました。

二つ目は、中学三年時の体育祭応援パフォーマンスで団長を務めたことです。自ら立候補し、クラスの先頭に立って練習に励みました。私たちの応援パフォーマンスの演舞はとても細かく、タイミンクを合わせるのが難しかったです。上手に合わせる事ができず、クラスがまとまらないこともありましたが、でも私は声をかけ続け、団長という責任をもち続けました。私が最後までがんばることができたのは、先生と応援団員の存在です。いつも熱心にサポートしてくださいました先生、優しく一人一人に教えてくれた応援団員。そのおかげで最高の形に仕上げることができました。クラスの一体感やみんなの成長を感じられたことも、団長として先頭に立って声をかけ

たり、一人一人に動きを教えたりするなど、主体的に行動したからだと思います。その分苦労もありましたが、乗り越えた先には大きな達成感がありました。

主体的に行動することは難しいことかもしれませんが、でも自信をもって行動することができれば、自分を成長させてくれます。これから先の人生の中で、乗り越えることが困難な高い壁が立ちはたかるかもしれません。辛いことも、つまづくこともあると思います。でも人生は楽しいことばかりでは成長することができないと自分自身の経験で学びました。これからも、何事にも主体的に行動し、自分に自信をつけていきたいと思っています。